

プロフィールの表示・非表示がオンライン議論に与える影響の分析：

「国立大学文系不要論の是非」をテーマにした学内実験（研究の成果発表）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-05-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中澤, 高師, 辰巳, 智行, 福田, 直樹, 吉田, 寛, 青木, 美奈, 大石, 哲也, 小林, 大晃, 佐藤, 沙樹, 中島, 大晴, 中村, 真菜実, 鈴木, 貴皓, 山田, 周平 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00026642

プロフィールの表示・非表示がオンライン議論に与える影響の分析：「国立大学文系不要論の是非」をテーマにした学内実験

中澤高師（学術院情報学領域），辰巳智行（情報学部），福田直樹，吉田寛（学術院情報学領域），青木美奈，大石哲也，加藤史也，小林大晃，佐藤沙樹，中島大晴，中村真菜実，鈴木貴皓，山田周平（情報社会学科）

本研究の目的は，オンライン議論において，プロフィールを表示する場合と表示しない場合で，議論にどのような違いが生じるかを明らかにすることである．そこで，「国立大学文系不要論の是非」をテーマとして，オンライン議論支援システム“Kalliopeia”を用いた学内実験を実施した．実験では，113人の参加者を，学部学科名を表示したグループ2つと，表示しないグループ2つに分け，別々に議論を行った．また，議論の前後にアンケートを実施し，参加者の意見や態度の変容を捉えた．結果として，学部学科名を表示したグループで意見変容がより多く発生し，また，異なる意見を持つ相手への理解や寛容性が高くなる傾向がみられた．